

四国のみち④「山里のみち」

【日 時】 2017年6月7日（水曜日）

【天 候】 雨

【メンバー】 C L 柏岡 静 S L 米原昭雄 山根 悟 天野民代 仁木章善
橋本和子 佐賀喜代子 佐賀康男 計 8 名

【アクセス】

板野町歴史文化公園に集合後、あせび公園駐車場に車1台で移動。駐車場から歩いてコース起点の香川県境に移動する。（当日は雨天のため予定を変更し、大坂峠、県境間は省略した。）

【コースタイム】

大坂峠（あせび公園）……0.2km（15分）……大坂峠展望台……1.7km（45分）
……大坂峠御番所跡……3.2km（1時間15分）……ジョコマル池……1.4km
（45分）……蔵佐谷……1.5km（20分）……犬伏

計 歩行距離 8.1km 所要時間 3時間20分

【コース概要】

あせび公園に車を置き大坂峠に向かう。当初、大坂峠からコース起点の県境へ向かう予定であったが、雨のため中止、下山することにする。途中、急坂で雨のため危険が予想される箇所は県道を迂回し、大坂峠御番所に到着する。

ここからは町道を進み、大宮神社付近から風雨とも強まる中、「四国のみち」の道標に従い田圃の中の道に入る。

ジョコマル池に向かっては山道になるが、雑草に覆われ、取り付き口が見つからず、やむなく道を引き返し、町道を通ってジョコマル池の下を通っている北相谷トンネルの4車線化の工事現場を通過し、ジョコマル池への登山道を登る。ジョコマル池ではジュンサイの花が一面に咲いていた。

ジョコマル池から下山し、町道へ向かうが、町道手前の道も荒れており、竹や雑草で覆われて歩きにくい。

その後、町道を35分程歩くとゴールの犬伏に到着した。

【リーダー感想】

海拔392mの大坂峠は板野町北限の高台で瀬戸内海国立公園を眼下に見下ろす風光明媚なところ、ここから大坂峠御番所跡までは小シダの茂る石畳の道で、昔阿波の国と讃岐の国の人々が行き交う交通の要所であったことから、今も石畳で保存されている。この峠道、随所に史跡案内もあり、往時を偲ぶ恰好のハイキングコースである。終点の犬伏は「四国のみち」の終点でもある。





① あせび公園



② 馬酔木の径



③ 大坂口御番所跡



④ 大宮神社



⑤ ジョコマル池

